



2004年10月14日

各位

東京都新宿区西新宿六丁目10番1号  
株式会社フォーサイド・ドット・コム  
代表取締役 安嶋 幸直  
(登録銘柄コード番号: 2330)  
問い合わせ先 取締役管理部部長 川崎雅嗣  
TEL 03-5339-5211(代)

## 子会社の取得に関するお知らせ

当社の完全子会社である For-sidePlus.U.K.Co.,Ltd. (本社: Delaware、CEO: 安嶋 幸直) は、2004年9月22日に発表いたしました「欧州コンテンツプロバイダ大手テリタスの買収に関する基本合意」に基づき、本日 For-sidePlus.U.K.Co.,Ltd. が Telitas ASA (本社: ノルウェー、取締役会長: ロジャー・セダル) を完全子会社とすることに関し下記のとおり正式に決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 子会社となる会社の概要

|        |  |
|--------|--|
| 商号     | Telitas ASA  |
| 所在地    | ノルウェー (Pilestredet)  |
| 代表者の氏名 | 取締役会長: ロジャー・セダル (Roger Sedal)  |
| 設立年月日  | 2000年3月  |
| 事業の内容  | モバイルコンテンツ事業  |
| 決算期    | 12月  |
| 従業員数   | 約90名 (2004年10月現在)  |
| 資本の額   | 約1,200百万円 (2003年12月現在)   |
| 売上高    | 21,500,000ユーロ (約30億円) (04年12月期予想)<br>35,000,000ユーロ (約48億円) (05年12月期予想) |
| 経常利益   | 2,429,000ユーロ (約3.5億円) (04年12月期予想)<br>6,150,000ユーロ (約8.5億円) (05年12月期予想) |

#### 2. 異動の前後における For-sidePlus.U.K.Co.,Ltd. の所有に係る子会社の議決権の数、及びその議決権の総数に対する割合

|                | (異動前)       | (異動後)       |
|----------------|-------------|-------------|
| 所有議決権数         | 0           | 8,787,913 個 |
| (所有株式数)        | 0           | 8,787,913 株 |
| 議決権の総数         | 8,787,913 個 | 8,787,913 個 |
| (発行済株式数)       | 8,787,913 株 | 8,787,913 株 |
| 議決権の総数に対する割合   | 0           | 100%        |
| (発行済株式数に対する割合) | 0           | 100%        |

### 3. 異動の内容及びその年月日

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 内容    | 全株主より発行済株式総数の100%を取得します。 |
| 異動年月日 | 平成16年10月7日               |

### 4. 異動の目的

欧州の『着メロ』『待受け』『ゲーム』といった2006年のモバイルコンテンツ市場は、2003年の約133.2%増となる約4,468億円市場に達するとされている。(出所: Corporate Finance Partners 2004年4月)

フォーサイドは、2003年10月に英国に子会社 For-side.com.U.K.Co.,Ltd.を設立以降、英国大手レーベル「BMG」「ワーナー」「EMI」「SME」から着メロ・着うたの配信権を獲得して、ニーズの高い洋楽を提供しております。

また、キャリアに向けては英国キャリア大手「Orange UK」、仏国キャリア大手「Orange」「SFR」「Bouygues」に計44のモバイルコンテンツを提供するなど着実に市場シェアを拡大しております。

テリタスは2000年に設立以降ノルウェーを始め北欧圏6ヶ国に渡り計30キャリアに向けて『着メロ』や『待受け』といったモバイルコンテンツのサービスを展開しております。また、テリタスは9局のTVメディアとも協業を図っており、TV広告を用いたPSMSサービスを使用してユーザーから課金を行っております。欧州における市場シェアを急速に伸ばしております。

今回テリタスを子会社化することで、フォーサイドの『着メロ』や『待受け』などの豊富なコンテンツ資産とテリタスが持つヨーロッパエリアの強力な流通網と、PSMSサービスの技術が合わさることで更なる収益を獲得できるものと考えております。

### 5. 今後の業績に与える影響

今後の業績に与える影響等は現在検討しております。検討結果が分かり次第開示させていただきます。

以上